



GVROの申し立てができるのは誰ですか？

- 家族
- 同居人、ルームメート
- 一部の雇用主、同僚、先生、学校のスタッフ
- 交際関係にある人
- 一緒に子供を持つ人
- 法執行機関

どうしてGVROが必要になるのですか？

GVROは、危機的状況にある人が、自分自身や誰かに危害を加えるかもしれないという兆候を見ている場合に役立ちます。銃にアクセスできる人は、自分自身や他人を死傷させる危険性を高めます。

GVROにはどんな効果がありますか？

- 自分自身や他人に危険をもたらす個人から銃器や銃弾を取り上げることができます。
- 相手方がサポートを求めるための時間を確保します。
- 法執行機関が1年から5年の禁止命令を出すことができます。

GVROの種類

- **緊急保護 GVRO**は、法執行機関のみが取得することができます。
- **一時的GVRO**は、自分で申し立てることができ、裁判所の必要な書式に記入し提出してください。書式はオンラインやすべてのロサンゼルス郡高等裁判所からも無料でご利用いただけます。
- GVROは、裁判官が一定期間の命令を下すまでの一時的なものです。

GVRO (銃暴力禁止命令)とは何ですか？

銃暴力禁止命令 (GVRO)は、誰かが銃器 (銃)、銃器の部品、銃弾、弾倉を所持、所有、購入することを禁止することができます。

GVROは、警察、家族、親密なパートナー、同居人、雇用主、学校関係者によって申し立てることができます。

GVROは、自分自身や他人に危害を加える危険のある人から21日間から最長5年間、銃や銃弾を取り上げることができます。

GVROの申し立て方法:

1

緊急事態が発生した場合は、911に電話してください。緊急保護GVROを取得できるのは法執行機関のみです。

2

一時的GVROを希望する場合、もしよろしければ、最寄りの警察署またはロサンゼルス郡高等裁判所までお越しください。
<https://www.lacourt.org/courthouse>

3

以下のでも支援を受けることができます:

- ロサンゼルス法律扶助財団
<https://lafila.org/>
- カリフォルニア州裁判所 – 自助ガイド
<https://selfhelp.courts.ca.gov/GV-restraining-order>

GVROのナビゲーションにお困りですか？ OVP (暴力防止課) がお手伝いします。

OVPのGVROナビゲーターはこちらからお問い合わせください。

✉ ovp_gvro@ph.lacounty.gov

☎ 833.540.0473

